

2016年1月号

国際会長主題	「信念のあるミッション（使命・目標）」 "Mission with Faith"	Wichian Boonmapajorn (Thailand)
スローガン	「恵みを数えよう」 "Count Your Blessing"	
アジア地域会長主題	「愛をもって奉仕をしよう」 "Through Love, Serve"	Edward K.W. Ong (Singapore)
スローガン	「まず自分から始めよう」 "Let it Begin with Me."	
西日本区理事主題	「あなたならできる！きっとできる」 "You can do it ! Yes, you can !" — 生きる しなやかに さわやかに — "Live flexibly and refreshingly"	遠藤 通寛 (大阪泉北)
九州部長主題	「九州から輝くワイズダム」	五鶴 義行 (阿蘇)

熊本クラブ会長主題 人間のいのちの持つ可能性を追求しよう！

Let's pursue the possibilities of human life !

堤 弘雄

強調月間

IBC DBC

交流はワイズの醍醐味。クラブや部を超えた出会いを楽しみましょう。

国際・交流事業主任 中井 信一 (奈良)

会長メッセージ

2016年、ワイズの魅力を楽しもう！

会長 堤 弘雄


健やかに新年を迎えられたと思います。2016年も皆さんとともに気品ある熊本クラブを目指し、残り半年を会長として努めてまいりたいと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。

さて、1月はIBC・DBCの強調月間です。ワイズメンズクラブの会員であることの魅力の一つは、海外の特定クラブと兄弟縁組を行い交流する IBC (International Brother Club) 国際兄弟クラブの存在です。熊本ワイズメンズクラブは韓国大邱の大邱ワイズメンズクラブと長年交流を続けています。

【今月の聖句】

「宴会を催すときには、むしろ、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を招きなさい。」

ルカによる福音書 第14章13節

何はなくとも、会食は楽しいものです。今はやりの女子会から命運を左右するおもてなしまで、シチュエーションは様々です。YMCA創設者ジョージウイリアムズは相手の心を掴むには飯を用意しろと言った話は有名です。ワイズの例会での会食も大きな魅力になっています。それだけ会食は人々のこころをつなぐ重要な役割をもっているのでしょうか。

でも、時にはこのイエスの御言葉にあるように、目的をもった会食から少し離れて、愛の実践することでの会食も素敵な気がします。私たちのなにげない日常の中に見返りを期待せず、純粋な愛の実践ができるることは意外に多くのかも知れません。（藤川 登士郎）

12月ファミリークリスマス例会報告

大 村 豊

12月24日(木)のクリスマス・イブの日、熊本クラブのファミリークリスマス例会がホテルキャッスルの地下の鏡のある部屋で行われました。イブの日ですから、プログラムにふさわしい年末の一日でした。



礼拝は、若い男女の電子ピアノ奏者とバイオリン奏者の二名の「オレンジ」の前奏からはじまりました。クリスマスマッセージは、堤会長から三人の賢者が東方から来たというお話しや、2011年の東北大地震に続いて、2012年の阿蘇の大水害がおこったこと、そして同年、阿蘇キャンプ場で東北と阿蘇の被災した子供達が参加したキャンプのプログラムがあったこと、その過程で、子供達がリーダーとの交わりにより、成長したこと、そのキャンプが毎年続いていることなどの報告がありました。また、ろうそくはその体をすりへらして周りを相当時間明るくし、最後は消えてなくなるというお話は以前にも聞いたこともあります、献身ということを考えさせる良いお話しです。礼拝の最後に、賛美歌「諸人ござりて」を大きな声で歌うことができました。

その後の誕生日や結婚記念日のお祝い、YMCA報告などのプログラムは、いつも通りですが、よいものです。藤川ワイズのYMCA報告により、YMCAのプログラムが良く理解できます。1月30日の早天祈禱会には毎年行こうと思っているのですが、信心が足りないのかなかなか行けませんね。

食後は、前記のオレンジのクリスマソングや「リベルタンゴ」「レット・イット・ゴー」山下達郎の「クリスマスイブ」坂本九の「見上げてごらん夜の星を」「赤鼻のトナカイ」「きよしこの夜」などの名曲を楽しむことが出来ました。



クリスマス例会は、アルコールを飲める数少ない機会ですから、メートルのあがったご機嫌のワイズも沢山いました。

ニコニコでは、続ワイズのゴルフや卓球のこと、

木山ワイズの友人の息子さんが水球でオリンピックに出場決定したこと、岡崎ワイズの水泳やお孫さんのお話などをお聞きすることが出来ました。

例会後、いつもは、二次会となるのですが、1年に1回でしょうか、その例会の後には二次会はなかったようです。家族サービスということです。

この12月例会がおわると1年もおしまいという気分となります。

プレゼント交換は、お名前bingoというのですが、面白い趣向でした。

皆様のよいお年をお祈りして閉会となりました。

例会スナップ



《堤 会長によるクリスマスマッセージ》



《Happy birthday と Happy anniversary》



《ご参加いただき有難うございました。》



《演奏の「オレンジ」のお二人と》



《乾杯は岡崎 Ys サンタも登場》



『じゃがいも協力への感謝、プレゼント交換』

新春放談会について

大 村 豊

平成 28 年 1 月 14 日(木)、午後 7 時から約 40 分の事務例会、その後の放談会が午後 9 時 30 分過まで、熊本 YMCA 中央センター 1 階のウェルビー（食堂）で、10 名が参加して行われました。

事務例会には、久し振りの布田ワイズ、野口メネット、森川ワイズ（スピリットクラブ）も参加して、活発な議論があったようですが、その詳細は、30 分以上も遅刻して参加した私にはよくわかりません。

2、3 月の卓話者の選定、じゃがいもの販売による益金のうち 5 万円を YMCA 年末募金へ寄付すること、恒例の花岡山のプログラムの紹介の報告などもありました。

新春放談会のご馳走は、ウェルビーの料理を担当している皆さんにお願いしての特別料理と暖かい豚汁などです。家庭料理に近いし、味付けもよくて、たいへん美味しいものでした。

ゴルフプレイヤーのマークの入った赤いネクタイをした布田さんは、子供の成長ぶりや選挙のお話し、野口メネットは、「24 の瞳」の映画のお話し、その他多くのワイズが各々の近況や健康のお話しなどつきることのない新春の思いなどを語りましたので、又、酔いもあって、あっという間に楽しい例会は終了しました。

今年も 1 年間、よろしくお願いします。



◇ 92 歳と 93 歳の両親は、高森にて 11 年間ふたりで生活していたが、高齢者住宅に入所。お正月は、子ども家族や孫の大所帯だった。昨年立ち上げた「夢ネットはちどり」で世代間の互助を進めて行きたい。ワイズは、5 名増員に努力する。(堤 弘雄)

◇ 東部 Y 日本語学校のラオスからの留学生を、もう一度ホームステイに招待したい。一昨年、ニュージーランドの娘家族を訪ね、1 人で帰国したので、いろいろなことの自信になっている。グローバルとの DBC に参加したい。(森川 稔子 (スピリット))

◇ 長女が結婚し、鹿児島で生活している。医師としての仕事も頑張っている。次男は、千丁中学校の教師となった。ワイズではメネットを連れて参加し、今一度ワイズ活動を頑張りたい。そして、政治活動も頑張ってみたい。(布田 悟)

◇ 連絡主事も 3 年目となる。ここ数年、健康診断で引っかかるので健康で過ごすこと目標としたい。(藤川 登士郎)

◇ サッカーオリンピック予選で北朝鮮に勝ったので気分が良い。今年もゴルフにたくさん行きたいし、ワイズにも出席したい。ヨーロッパの美術館めぐりをしたいが、一緒に行ってくれるメネットと調整がつかず、機会がない。(大村 豊)

◇ 年末、妹家族が来て、頂いた月山のお蕎麦を皆で楽しんだ。夫が亡くなつて 3 年が経ち、これからのことや自分のことを考えられるようになった。「二十四の瞳」を見て、いろいろのことを思い出した。ワイズは、メンが残してくれた財産。(野口 矩子)
(若々しく年齢を感じないとの声が。)

◇ 11 月の山口への旅行で足をくじき、捻挫と思っていたら骨折。12 月には自動車事故と例会にも欠席してしまった。今年は健康で、足を上げて歩きたい。(木山 彫子)

◇ 老老介護？ 実家の母を介護中に自分が骨折、入院を断ってコルセットで過ごした。孫の成長が何より。ワイズでは、自由に連絡できるので、サポートを行いたい。(米倉 容子)

◇ 親孝行をしたい。(中川 由美 (木山コメット))

◇ 今年は「寛容をもつてつましく」をテーマに、活動を行いたい。父やメネットの健康をサポートしたい。(吉本 貞一郎)



* 2 月事務例会日程変更 *

2 月 10 日 (水) 19~21 時 熊本中央 Y

「援助する前に考えよう」に参加して

吉本 貞一郎

あなたが、タイの山岳少数民族の貧しい村を訪れたおり、「この小学校のために\$10を寄付して下さい。(呼掛け人 ○○大学 ○×アイ子)と書かれた看板を目にします。さて、あなたは寄付しますか?

そして、あなたはこのような看板を設置する行為について「賛成」、「やや賛成」、「やや反対」、「反対」のいずれですか?

それでは、この活動がよりよいものとなるためには、どうしたらよいでしょうか? アドバイスを考えて下さい。

4~6人のグループで上記の意見交換からワークショップがはじまりました。

現在、正しい・間違っていると二者択一の事柄は少なく複雑化した社会構造となっているように思います。ダムの問題、基地問題、経済優先か福祉優先か、それぞれの主張があり、私たちは答えのない問い合わせ合わなければならぬ時代ではないでしょうか。だから、リベラルアーツ(教養)を積み重ねる必要があり、このワークショップはその1つとなったと思います。

支援者と被支援者、先生と学生等、最後はコミュニケーションの重要性に至るようです。そして、エンパワーメント、活動がどのレベルの参画となるのかが問われます。「出席だけの総会」と言われるレベルから他者を巻き込みながらの「共同参画社会」レベルまで、対話の必要性をあらためて感じました。上通 YMCA 国際ユースボランティアの青年の参加もあり、今後の熊本 YMCA にとって頼もしく感じました。

熊本 Ys&YMCA 感動史**熊本ワイズと国際交流**

吉本 貞一郎

熊本ワイズメンズクラブは、IBC(国際兄弟クラブ)を韓国東区新大邱(セテグ)クラブと結んでいます。昨年、4月に訪問した折には大変歓待を受けました。しかし、どのような経過で韓国大邱市のクラブと締結に至ったのでしょうか。二つの出来事を紹介したいと思います。

1965(昭和40)年、ワイズ日本区は韓国光州 YMCA 会館竣工を記念して5月 21・22 日に行われる韓国区大会に招待され、抱井五郎(東京江東)、酒井輝義(横浜)、須古博之、渡邊正一(いずれも熊本)の4人が初参加した。この年2月20日には日韓国交正常化に向けて日韓基本条約の仮調印がなされていた。(略)

韓国区は22クラブ、会員数は500人となっていた。大会にはネットを含む約200人が参加して、抱井らは暖かく迎えられた。大会前後に、ソウル、大田、大邱の YMCA、ワイズを訪問して日韓両国交流の機

会をつくった。訪問団団長の抱井は報告の中で次のように記している。

「日本に対する韓国人々の考え方は2つに分けられると思う。1つは日本に対する根強い不信感である。この責任は過去の日本の植民地政策36年間に帰す。韓国人々には理屈ではどうしようもない日本に対する憎しみが体にしみこんでいる。日本人として、この不信感、憎しみを率直に認めなければならない。この認識から日本人が出発しないかぎり、真の理解はあり得ないと思う。もう1つの考え方は世界的な視野に立って見る時、韓日両国は協力し、助け合うのは当然で、過去にとらわれず、将来に目を向けるべきであり、世界の平和のために進もうというものである。この2つの考え方は個人の心の中ではっきり整理されているというより、一緒になってその人によってニュアンスが違ってくると感じた。

(中略) ワイズメンを通して、両国の信頼を回復したいとつくづく思った。」

韓国 YMCA 宋 正漢総主事と熊本 YMCA 吉村恭二副総主事との 1968(昭和43)年開催の東山荘での同盟総会における出会いから始まる。大邱市が教育に熱心な都市であり、森の都とうたわれている所から、熊本市と相似した都市であること等で話がはずみ、高校生の交流やスタッフの相互研修の実現を申し合わせたのであった。当時、韓国の国際プログラムへの国内環境は、大変に厳しく、特に兵役義務終了前の青年世代の出国は、困難を極めた、そのような時代であった。

韓国との交流は、終戦前に韓国京城 YMCA で理事を務めた山中大吉氏をはじめ渡邊正一氏らの人材に恵まれたことも一因と思います。渡邊俊子 Ys は、交流がはじまった頃を振り返って、「韓国の居酒屋での交流の折は、YMCA やワイズの関係者以外の一般のお客さんの視線が厳しく、関係者に守られながら会食をしたこともある。」と回顧されています。

ちなみに、冒頭の IBC 締結は、1972(昭和47)年です。2022年国際協会設立 100周年が、IBC50周年となります。

熊本ワイズは、韓国以外でも江藤安純氏のアメリカ留学から阿蘇キャンプへのミシガンキャビン寄贈や安本 徹氏の BF 代表としてハワイ国際大会参加とアメリカ訪問など国際交流に寄与しています。

*参照

日本ワイズメン運動 70年史 p.144
熊本 YMCA50年史 P.182

秋の日の悲しかったことと嬉しかったこと

大 村 豊

木村一信(かずあき)元ワイズは、昭和21年4月24日生で、平成27年9月26日(土)69歳で死亡しましたが、大阪府高槻市在住でその小さい死亡記事が、昨年の9月28日(月)の熊日新聞に載っていました。熊本クラブに在籍していたのは、20年以上前のこと

で、熊本県立女子大学の先生だった時で、3年間位メンバーだったと思います。

やさしい人柄の「インテリ青年」という印象でした。日本近現代文学の研究者で、10年位前に朝日新聞に木村ワイズが書いた大きい記事が出ていたことを思い出します。当時は、別府の立命館大学の学部長の肩書きだったような気がします。

9月28日(月)の朝刊を見て、同世代(先輩)の友人を失ったということで悲しい気持になり、事務所への出勤となりました。年賀状のやりとりも出来なくなつたのです。

事務所へ着くと、別の熊本の友人からFAXがきていました。その連絡は、私達のゴルフ仲間のAさんの死亡を知らせる内容で、お通夜、葬式の日取りや場所も記載されていました。そして、木村教授のニュースの後でしたから、もっと悲しい気持になりました。同じ日に2人の年上の友人がなくなるなんて、ひどい一日です。

その後、一日の仕事を早く終えて、自動車で急いで帶山の葬祭場へ午後6時からのお通夜に間に合うように駆けつけました。私も年齢が高くなつて、友人、知人などの葬儀に参加する機会が増えているのですが、同世代や若い人の葬儀の時は悲しい気持になるのです。

駐車場に車をおいて、建物の入口付近で受付をすませて、2階の会場に入って、式が始まつたのでそくさと重い気持で中ほどのイスに座りました。暗い気持で私の気持ちも落ち込んでいました。

イスに座った後、落ち着いてから正面をゆっくりと見ることが出来ました。そこには故人の写真があったのですが、何かが違うのです。目をこらして何回見ても何かが違うのです。間違つた部屋へ入つたのでしょうか。どうなつてゐるのでしょうか。混乱してしまつた私は、貰つた「ごあいさつ(追悼のしおり)」取り出して見ました。すると、故人は、私の友人Aさんではなく、その90代の父親であることがわかりました。

祭壇の右方に並んで座つてゐる故人の身内の席を見ると、そこには、私の友人がいるではありませんか。死んだはずの人がいるのですから、驚いてしまつました。これは、「落語」の世界のお話だと思いましたが、実際あつたことなのです。

この私の大きなミステークは、「思い込み」から始まつたのです。自宅で新聞を見て、悲しい気持になり、事務所でのFAXを見たときに、その氏名の確認をしないまま、友人ではなく友人の父親の死亡を友人の死亡と「思い違い」して「思い込み」をしてしまつたことです。

その後は、私の気持は、友人が生き返つたという「嬉しい気持」となつてしまい、場所もわきまえずに、つい「笑み」がこぼれてニコニコしてしまうでした。会場に来つた同じゴルフ仲間の友人と会つても私の笑顔は消えないのです。周りの人々にニコニコしている私の存在がご迷惑と思つましたので、そくさと帰路につきました。

【YMCAだより】

連絡主事 藤川 登士郎

☆ 「自立の店ひまわり」が移転されました。

2000年に中央フリースペースに誕生した「自立の店ひまわり」が移転され、新たに水前寺の地でB型事業所としてスタートされます。昨年12月19日(土)にひまわり感謝会が盛大に開催され、ひまわりを支えてきた多くの方々が集まり、別れを惜しむとともに新たなスタートに期待を膨らませておられました。

立石邦子代表はワイズやYMCAの支えがなければ今のはまわりはなかつたと感謝を述べられていました。

☆ 「YMCA聖地研修」

平和の願いを込めて東エルサレムYMCA、エルサレム・インターナショナルYMCA、ガザYMCAとも連帯を深めながら、パレスチナから平和を考える研修です。下記の要領で現在参加者を募集中です。

期間 2月25日～3月2日(福岡空港発着予定)

主催 日本YMCA同盟 主管 熊本YMCA

参加費 400,000円以内

引率 日本福音ルーテル大江教会 立野泰博牧師
(熊本YMCA常議員)

申込・問合せ 本部事務局 TEL 096(353)6397

担当 本部事務局 久保誠治職員

☆ 「熊本バンド140周年記念講演・早天祈祷会」

○記念講演会 1月29日(金) 18:30～20:00

場所 熊本草葉町教会

奨励 石川 立氏

(同志社キリスト教文化センター所長)

演題 「ある信仰の継承～宮川経輝と広岡浅子」

○早天祈祷会 1月30日(土) 6:30～7:30

場所 花岡山山頂

奨励 村田 晃嗣氏(同志社大学学長)

題目 「寛容と忍耐」

◇◆◇ ワイズ運営メモ [スケジュール]

月/日 (行 事)

1月

29日 熊本バンド140周年記念講演会

30日 熊本バンド140周年記念早天祈祷会

31日 国際協力青少年育成年未募金最終日

2月

5日 第20回区大会実行委員会・懇親会

12日 (金) 事務例会 *変更日

25日 TOF例会

【編集後記】

オリンピックイヤーも一月が過ぎようとしています。大寒の寒さに震えながら希望の年となるよう祈っています。2020東京まで4年ですね。(吉本)

'15-'16 熊本ワイズメンズクラブ 1月事務例会記録 拠点
 日時：1月 14日(水)19:00～20:50 場所：熊本中央 YMCA ウエルビー
 出席：堤 布田 米倉 木山 藤川 大村 吉本 野口 MNT 森川(スピリット)
 (出席 9名 内、ビジター1名)

【協議事項】

1. 例会

- 1) 新年会 1月 28日 熊本市役所 14F 「彩」
 * (会費：¥4,000 参加者負担) 担当：続 Ys
 * 現在、出席 16名に他ビジター等希望者あり (予約 20名)。
 * 飲み物はクラブ負担。 * 近況報告や今年の抱負などを予定する。
- 2) 2月事務例会 (定例 2/11 木) は、2月 12日 (金) に変更する。
- 3) 2月 TOF 例会 2月 25日 (木) 19:00～21:00 ホテルキャッスル
 簡素な例会食事とする。司会 (布田) 食前感謝 (廣石 MNT / 柏尾 MNT)
 卓話者は、フェアートレード「スリランカコーヒー」・「きょうされん
 全国大会」を候補とし、それぞれに依頼を行う。
- 4) 3月例会 3月 24日 (木) 19:00～21:00 熊本ホテルキャッスル
 EMC 例会とする。詳細は、今後に検討を進める。

2. プリテン原稿 1/23 (土) 必〆切

クリスマス例会 (大村) 新春放談会報告 (大村、吉本) 会長通信 (堤)
 YMCA 報告 (藤川)

* 街頭募金 * 援助する前に考え方 WS 報告 * Y と Ys の感動史 (吉本)
3. その他

- ① じやがいも YMCA 年末募金へ 5 万円を献金。
- ② 次期会長 木山彌子 Ys にお願いする。
- ③ 4月 DBC 交流 (布田 Ys) 4月 2・3日 (土・日) 滋賀雄琴温泉
 希望者：堤、布田、大村、吉本(2)、野口 MNT、他にも希望を募る。
- ④ 春のウエルネスは「お花見」を検討し、入会候補者を含めクラブ内
 融和を図る。
- ⑤ 後期区費納入準備 (2月 15 日迄)

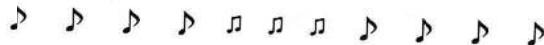
Y サ・ユース ¥2,000、CS ¥1,500、TOF ¥1,400、FF ¥800、BF ¥1,500、
 RBM ¥800、YES ¥200 を前期半年報に基づき献金、東日本大震災復興
 支援 (200 万円) は、3 万円とする。(3/15 期限)

【報告事項】

1. 西日本区・九州部 後期半年報(1月)および会員移動報告書、提出。
2. Y と Ys の交流懇談会、熊本連絡会議
 オール・YMCA・ディ (5/27～29 発表会、11/20 スポーツ) が予定。
 ひのくにフェスタは、西日本区大会準備に向けて懇親を行う。(2/5)
3. YMCA
 - 1) 国際協力青少年育成年末募金は 1月末まで
 - 2) ボランティアディ および能本バンド 140 周年関連事業について

YMCA の歌

若人の あつきいのりは 百年の歴史をつづる
 とこしえの のぞみにもえて さかえあり
 YMCA われらまた こぞりて起たん



熊本 YMCA の歌

森の都の朝ぼらけ 有明波の凪ぐところ
 み神の愛といさおしを 称えて集う若人の
 心に響くときの声 目覚めて今ぞ 立ち上がり
 YMCA こぞれりここに

目的

ワイズメン、ワイズメネットは一個の理想主義者であることが求められております。
 それには、何をおいても先ず YMCA に対する奉仕を旨とし、YMCA とのつながりを一層強め深めるための方向づけや
 活動方針、さらにはそのめの具体的プログラムの策定など、クラブがそれぞれの地にあってこれらを実現し、献身奉仕す
 ることを心がけなければなりません。

みんなのものが一つとなってワイズダムの"きずな"をより堅く結び、ともども YMCA 運動へ仕えることを願うものです。

- Our Motto -

"To acknowledge the duty that accompanies every right"

Today's program

2016年 1月 14日 19:00～21:30
 熊本 中央 YMCA ウエルビー

1月新春放談会

1. 開会宣言
2. 会長新年挨拶
3. 乾杯 *懇談
4. 新年の抱負 (放談)
5. 閉会

2016年 1月 28日 19:00～21:00
 熊本市役所 14階 「彩」

新年会

進行： Ys

会長挨拶

2016 年の活動について
 ゲスト・ビジター紹介

食前感謝
 (会食)
 (今年の抱負・近況) 参加の皆様

閉会謝辞

先月例会記録 (2016.12.24)

在籍会員	28
出席会員	12
功労会員	1
広義会員	1
マイキャップ	
出席率	46.2%
ゲスト	2
ビジター	6
メネット	7
コメット	5
例会出席総数	32
BF (プラザーフッドファンド)	
2015 年度献金 (現金)	
クラブファンド (ニコニコ)	
前月残高	98,221
12 月献金	18,990
12 月支出	14,742
12 月残高	102,469